

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成25年10月3日 (2013.10.3)

【公開番号】特開2013-93975(P2013-93975A)
 【公開日】平成25年5月16日 (2013.5.16)
 【年通号数】公開・登録公報2013-024
 【出願番号】特願2011-234612(P2011-234612)
 【国際特許分類】

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

H 0 1 M 10/46 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 7/00 3 0 1 B

H 0 1 M 10/44 Z

H 0 1 M 10/46 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体と、当該筐体から引き出されたケーブルの先端に設けられた充電ガンと、前記筐体に設けられ前記充電ガンを収納する凹状ガンポケットと、を有する充電装置において、前記凹状ガンポケットは、

前記充電ガンを収納した際に、前記充電ガンの上面に当接して脱落を規制する第 1 規制部と、前記充電ガンの下面に当接して脱落を規制する第 2 規制部と、を備え、

前記充電ガンを前記凹状ガンポケットに収納する際に、前記充電ガンの回転にともなって前記充電ガンの上面が前記第 1 規制部に当接するとともに前記充電ガンの下面が前記第 2 規制部に当接する充電装置。

【請求項 2】

前記第 2 規制部は、前記凹状ガンポケットの内壁面から起立した突起部を含む請求項 1 に記載の充電装置。

【請求項 3】

前記突起部は、鉛直方向に延在する請求項 2 に記載の充電装置。

【請求項 4】

前記突起部は、その先端に、前記凹状ガンポケットの外側に向かって傾斜して延在する舌部を有する請求項 3 に記載の充電装置。

【請求項 5】

前記凹状ガンポケットは、前記充電ガンを収納した際に、前記充電ガンの先端に対面する当接部を備える請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の充電装置。

【請求項 6】

前記当接部は、鉛直方向に対して傾斜して形成されている請求項 5 に記載の充電装置。

【請求項 7】

前記凹状ガンポケットは、

前記充電ガンの回転支点より鉛直方向下側に設けられ、前記充電ガンを係止するロック

機構を備える請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の充電装置。

【請求項 8】

前記ロック機構は、前記充電ガンの一部を受容する凹部の開口部に架設される請求項 4 に記載の充電装置。

【請求項 9】

前記ロック機構は、開錠時においてその自重により前記凹部の開口部から退避する請求項 4 又は 5 に記載の充電装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、充電装置の筐体に形成した凹状ガンポケットに、充電ガンを収納した際に、充電ガンの上面に当接して脱落を規制する第 1 規制部と、充電ガンの下面に当接して脱落を規制する第 2 規制部とを設け、充電ガンを凹状ガンポケットに収納する際に、充電ガンの回転にともなって充電ガンの上面が第 1 規制部に当接するとともに充電ガンの下面が第 2 規制部に当接することによって上記課題を解決する。